

第7回 南部地区街づくり協議会

日時：平成27年7月13日 14時00分

場所：天理市役所4F 特別会議室

次第

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状の交付
4. 議事
 - (1) ブランディング・PR戦略の構築支援事業者の紹介
 - (2) 現在進行中のプロジェクト整理
 - (3) 奈良県立大学との包括的連携協定について
5. 報告事項
 - ① 県市連携による九条バイパス構想について
 - ② 奈良県立美術館のギャラリー展示について
 - ③ 第1回柳本マルシェの開催について
6. 次回の日程
7. 閉会

【添付資料】

- P 1 南部地区街づくり協議会 委員名簿
- P 2 南部地区活性化プロジェクト現況報告書
- P 3-4 奈良県立大学との包括的連携協定
- P 5-6 食のブランディングプロジェクト
- P 7-8 ふるさと納税制度チラシ
- P 9 奈良県立美術館ギャラリー展示
- P10-12 地域の取組 柳本マルシェについて
- 別添 天理ブランド概要資料
- 別添 南部地区旅行商品の紹介
- 別添 九条バイパス概要資料

南部地区活性化プロジェクト 現況報告書

| 項 目 | 概況 ・ 見通し | 協議事項 |
|---------------------|---|--|
| 周遊観光拠点プロジェクト | <p>トレイルセンターについて、天理ブランド構築の一環として、決定したデザイナーによる内装のリノベーションデザインを作成。</p> | <p>山の辺の道の休憩施設、龍王山への登山口、地域の憩いスペースとして必要な機能・持たせる役割について議論したい。</p> |
| | <p>長柄駅倉庫スペース及び駅前広場、長柄新池公園を活用し、『長柄マルシェ』等、地域の魅力を発信するイベントを検討・企画する。</p> | <p>集客性・ターゲット層を考慮し、外向けだけでなく周辺住民の方々が楽しめるイベントから始めてはどうか。マルシェにこだわらず、新池公園の芝生を活かすイベントができないか。</p> |
| | <p>柳本駅舎スペースの活用については、所有管理者であるJRと協議を実施中。</p> | <p>観光シーズン中の定期的なイベント開催、もてなし案内ができないか。</p> |
| 日本版“王家の谷へ行こう”プロジェクト | <p>奈良県立大学と連携のうえ、学生目線による新しい地域の楽しみ方提案をH27度実施予定。</p> | <p>内容についてはあくまで学生主導で検討してもらうが、地域の伝統行事や祭りに焦点を絞った検討をしていただくのはどうか。</p> |
| | <p>旅行会社と連携し、旅行商品として長岳寺の大地獄絵図の住職による絵解き説法、柳灯会の体験参加ツアーを実現。</p> | <p>他の地区行事についても参加型体験ツアー等の企画・提案ができないか。</p> |
| 物産高付加価値化モデルプロジェクト | <p>天理ブランドの構築と並行して、市の物産の高付加価値化をモデル的に実施予定。</p> | <p>事業者の選定について、南部地区の事業者を協議会として推薦できないか。</p> |
| “てんりの味”全国お届けプロジェクト | <p>ふるさと納税制度として、寄付者に市の特産品等の特典品として送付する事業が7月1日からスタート。</p> | <p>現在、南部地区からは、丸山繊維の蚊帳布巾、南檜垣営農組合の味間いも・卑弥呼みそ、山中章弘農園の柿、坂利製麺所の素麺等、市提供の古墳博士セット、古墳ツアー参加券が決定済み。 今後、協議会で製品の追加について推薦・提案をいただきたい。</p> |



奈良県立大学



- 所在地 奈良市船橋町10番地
- 学生数 地域創造学部1～4年生 654名（男182、女472）
- H24.4月に4年制の奈良県立商科大学として開設され、H27.4月から公立大学法人化。「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」を建学の精神とし、様々な教育活動・地域貢献に取り組まれている。
- H26.4月より「学習コモンズ制度」を導入。観光創造、都市文化、コミュニティデザイン、地域経済の4分野において、地域に密着したフィールドワークを重視した学生と教員の対話型少人数教育を実施。

< 協定の目的 >

奈良県立大学は「地域や観光に関する教育・研究を通じて、地域づくりに貢献できる優れた人材の育成と研究活動の成果を地域に還元し、開かれた大学として民産官学の連携の場の提供により人と社会の未来を創ること」を教育・研究目的とされており、連携することで地域の課題解決やニーズに沿った施策展開を推進します。

また、本市の有する自然や歴史・文化等の優れた地域資源は、学生が地域や観光を学ぶための良き学習材料であり、連携して事業を実施することでより実践的な教育・人材育成環境を提供します。

< 平成27年度 実施予定の連携事業 >

1.南部地区街づくり協議会によるプロジェクトの協働実施

本市南部地区の魅力を活かした「新しい楽しみ方」の提案を連携により実施します。学生によるフィールドワークや地元交流、内容検討により、若者目線によるこれまでになかった地域の魅力創出を図ります。

2.天理市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定への協力

奈良県立大学に対して、天理市が策定を進めている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への人的・知的支援を要請します。今回の協定締結に先駆け、「地方創生アドバイザー」に高津融男准教授が就任されています。

3.相互出前講座

市職員が施策や地方公務員としての経験・考えを話す機会を作ることで、天理市のPRはもちろん、学生がより実践的な「行政」を知るきっかけを創出します。また、奈良県立大学が研究・蓄積されている成果を、講座として提供していただくことで、様々な知見に触れる機会を広く創出していきます。



天理市と奈良県立大学との包括的連携に関する協定書



天理市（以下「市」という。）と奈良県立大学（以下「大学」という。）は、地域社会の発展に資するため、次のとおり包括的連携に関する協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、市と大学が包括的な連携のもと、地域の課題に適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的とする。

（連携事項）

第2条 市と大学は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携し協力する。また、相互に連携し、情報発信を行うこととする。

- (1) 地域産業振興に関すること
- (2) 教育・文化の発展に関すること
- (3) 人材育成に関すること
- (4) 地域づくりに関すること
- (5) その他、前条の目的を達成するために必要な事項

（守秘義務）

第3条 市と大学は、本協定に基づく活動において、相手方より知り得た秘密事項について、本協定の有効期間中および有効期間終了後を問わず、第三者に対し開示又は漏洩してはならない。ただし、事前に相手方の承諾を得た場合は、この限りではない。

（有効期間）

第4条 本協定は、協定締結の日から発効し、有効期間は1年間とする。ただし、市または大学のいずれから別段の申し出がなされないときは、この協定は自動的に更新されるものとする。

（細則）

第5条 本協定に定める事項について疑義が生じたとき又は本協定に定めのない事項について必要があるときは、両機関が協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、両機関記名押印のうえ、各自その1通を保有する。

平成 27 年 5 月 15 日

天理市長



奈良県立大学長



平成27年度 天理「食」のブランディングプロジェクト スケジュール(案)

H27.7.

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考 |
|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 天理「食」の ブランディング プロジェクト (物産高付加価値化モデル) | | | | | | | | | | | | | |
| <div style="text-align: center;"> </div> <p>《委託業務内容》 食の専門家と天理市民による「食」の商品開発及び「食」ブランディング (1) 地域資源発掘(協議会より提案) (2) レシピ開発(カフェメニュー・土産) (3) 調理指導 (4) ブランド戦略策定 (5) PR</p> | | | | | | | | | | | | | |



刀根早生柿



味間イモ



あすかるびー



大和の麩



干し柿



卑弥呼みそ

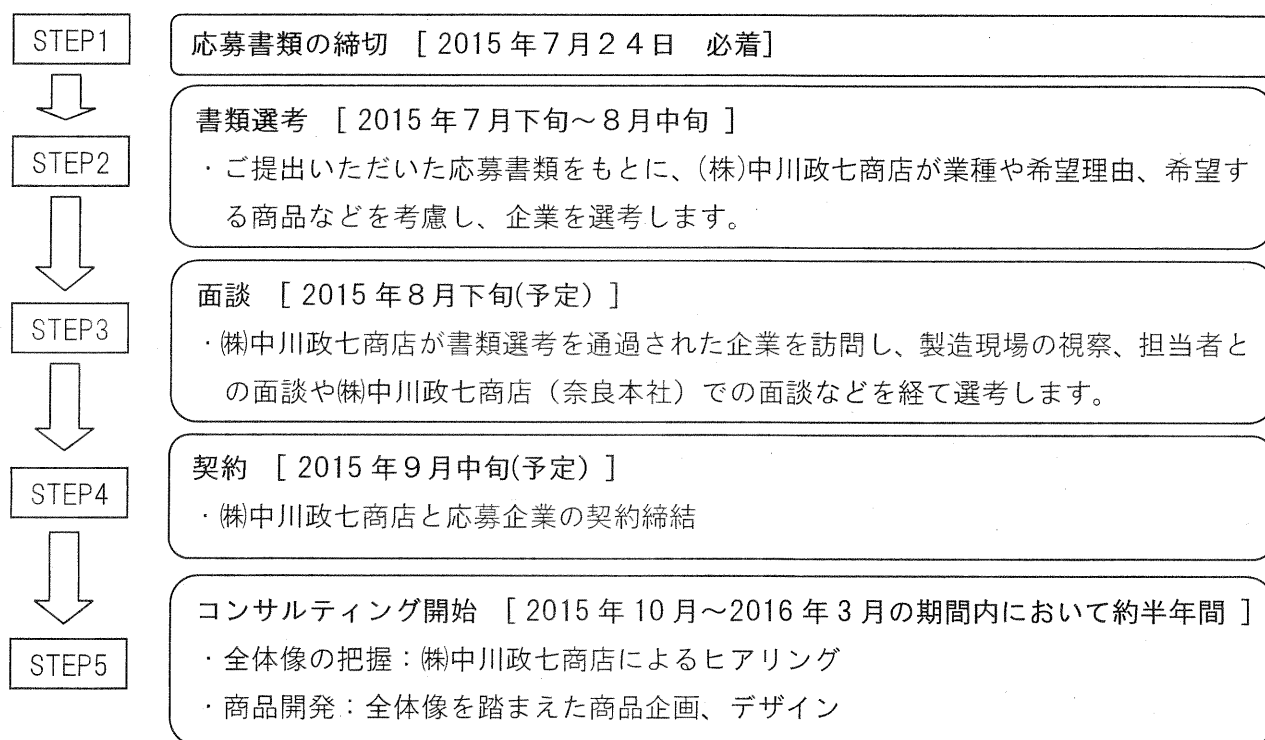
etc...

株式会社中川政七商店による 商品開発コンサルティング 公募のご案内

この度、奈良県内の事業所の中から3～5社を公募し、株式会社中川政七商店による商品開発コンサルティングを実施します。なお、選考結果は応募のあった企業にお知らせしますが、選考に関わるお問い合わせや異議は一切受け付けませんので、ご理解のうえご応募ください。

1 契約から流通サポートまでの流れ

以下の流れで、契約後、コンサルティング開始となります。



商品開発コンサルティングによって開発された商品は、(株)中川政七商店による次の流通サポートが受けられます。（ただし、交通費や宿泊費などの実費は、別途応募者負担となります。）

流通サポート① [2016 年 6 月]

- ・(株)中川政七商店主催の合同展示会「大日本市」（東京・大阪）での商品発表
（BtoB の商談会への出展）

流通サポート② [2016 年 11 月]

- ・奈良県奈良市にて開催の「大日本市博覧会」での商品発表、販売（BtoC のイベントへの出展）
- ・(株)中川政七商店の一部直営店において販売予定
（ただし、商品の特性により、販売できないことがあります。）

2 コンサルティング費用

1社 150万円（なお、自己負担金は50万円となります。）

- ※1 税別表記となっております。
- ※2 商品開発にかかる材料費、試作費等は、別途応募者負担となります。
- ※3 コンサルティングに伴い、交通費、宿泊費が発生した場合は、都度ご請求となります。
- ※4 その他、費用負担の詳細については契約時に決定します。

3 応募対象者

奈良県内でものづくりや観光に携わる中小企業者または法人格を有する中小企業の団体

4 応募方法

(1) 応募書類

別紙の応募用紙（商品開発コンサルティング申込書）と、会社概要が分かる資料（パンフレットなど）を下記に郵送（配達記録郵便）でご提出ください。

（提出先）

奈良県 観光局 観光プロモーション課

住所：〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30

TEL：0742-27-8051

(2) 応募締切

平成27年7月24日(金) 必着（配達日時が記録される郵便でお願いします）

なお、一旦受け付けた書類は返却いたしませんので、ご了承ください。

5 その他

- ・本事業は、基本的には(株)中川政七商店と応募企業様との個別契約になりますが、同社の商品コンサルティングを受け、売れる商品を開発しようとする意欲の高い企業様を奈良県が支援するものです。
- ・ご提供いただいた企業情報等は、本事業の運営に必要な範囲で使用します。



Furusato Tenri Ouen Kifukin

ふるさと天理応援寄附金 ご案内

ふるさと天理応援寄附金は、天理市に貢献したい、応援したいという方々の思いを寄附金に託していただく制度です。

いただきました寄附金は、市の各施策を推進するための事業に活用させていただきます。ふるさと天理応援寄附金にご協力をお願いいたします。

ふるさと天理応援寄附金の特徴

ご寄附をいただいた市外在住の方へ

- **お礼の品を贈呈します。**（詳しくは裏面をご覧ください。）

パソコン・スマホから

- **クレジットカードでも寄附ができます。**

寄附金のうち2,000円を越える分は

- **税金から控除されます。**（ただし限度額※があります。）

あなたの思いを伝えてください。

- **寄附金の使い道が選べます。**

【寄附金活用メニュー】

- | | |
|------------------|----------------|
| ①「古墳のまち」の推進 | ⑤音楽・芸術・スポーツの振興 |
| ②山の辺の道の保全・整備 | ⑥天理駅前広場等空間整備事業 |
| ③子ども・子育てに関する事業 | ⑦市長におまかせ |
| ④安心して暮らせる街づくりの推進 | |

感謝の気持ちの返礼

ふるさと納税

「ふるさと天理応援寄附金」のご案内

天理市外にお住まいの個人の方で、1万円以上の「ふるさと天理応援寄附金」をいただいた方には、感謝の気持ちとして天理市の特産品等を贈呈します。

※最新の商品情報はホームページでご確認ください。

Aコース(寄附金額1万円以上) <下記より1品>

■刀根早生(とねわせ)柿 36個



■柿えくぼ(ミニ) 3本入り



■柿の葉寿司バラエティセット



- 平核無(ひらたねなし)柿 36個
- かよのあんぼ柿
- 大和茶ギフトセット 紙缶2本入り
- 純米吟醸楽寿&奈良うるはし純米酒
- 手延本葛そうめん 6P
- 喜養麺袋入り 7食
- 味間芋 3kg
- 奈良蚊帳ふきん 5点セット
- 天理高校応援グッズ(高校野球)
- 山の辺の道散策セット
- 天理駅前広場のネームプレートに名前を刻む

■奈良一番茶「源作培」フィルターインボトルセット



■瑠璃杯(RURIHAI) 稲天 飲み比べセット



■にゅう麺セット8食入り



■天理カレー10箱入り



■大和ひみこ味噌 1kgx2



■古墳博士セット



Bコース(寄附金額2万円以上) <下記より1品> ※1

■黒松稲天 大吟醸 斗瓶取り 雫



■手延本葛そうめん 15P



- 柿えくぼ(Lサイズ) 5本 木箱入り
- にゅう麺セット 18食入り
- 喜養麺袋入り 17食入り
- 奈良蚊帳ふきん&タオル 9点セット

※1 Aコースから2点選ぶこともできます。

Cコース(寄附金額3万円以上) <下記より1品> ※2

■奈良蚊帳ふきん&タオル 11点セット



■喜養麺袋入り 26食入り



- にゅう麺セット 29食入り
- 手延本葛そうめん 23P
- 「ヤマト王権の古墳群を巡る考古学ツアー」参加券(2016年2月28日開催)

※2 Aコースから3点または、Aコース・Bコースからそれぞれ1点ずつ選ぶこともできます。

寄附の方法

① 寄附金の申込

ふるさと納税ポータルサイト『ふるさとチョイス』の申込フォームから、WEB上でお申し込みができます。

書面によるお申込みをご希望の場合は、天理市のHPより申込書をダウンロードし、郵送又はFAXでご提出ください。

② 寄附金の払込

WEB上でお申込みされる場合は、クレジットカード決済により、申込から決済までワンストップで完了できます。

払込用紙をご希望の場合は、申込書を受領後(申込フォーム入力後)、払込用紙をお送りしますのでお近くの金融機関等で払い込んでください。

③ 寄附金受領証明書・お礼品

天理市にて入金の確認ができましたら、寄附の受納完了です。確定申告の際に必要な受領証明書と、対象の方には返礼品を発送いたします。

※入金確認・返礼品の発送までにお時間をいただく場合があります。

【お問い合わせ先】

天理市 財政課

〒632-8555 奈良県天理市川原城町 605 番地

TEL:0743-63-1001

FAX:0743-62-5016

ふるさと天理応援寄附金 HP は

天理市 ふるさと納税 検索



～歴史文化との出会い 記紀・万葉の時代からの大和の古道「山の辺の道」を巡る～

奈良県立美術館のギャラリースペース／展示室をお借りし、桜井市との連携により、記紀・万葉の時代から続く大和の古道「山の辺の道」の魅力伝える展示会を計画しています。川端康成氏をはじめとする多くの文化人の揮毫による万葉歌碑の原書や拓本、美しい風景の写真、また、山の辺の道沿いに点在する古社寺や古墳関係の作品などを展示し、いにしえ人の情景へと誘います。開催期間はH27.10.10(土)～12.6(日)を予定しており、正倉院展とも重なるため、県内外からの多くの方に地域の魅力を知っていただくことができます。

<レクチャールーム>



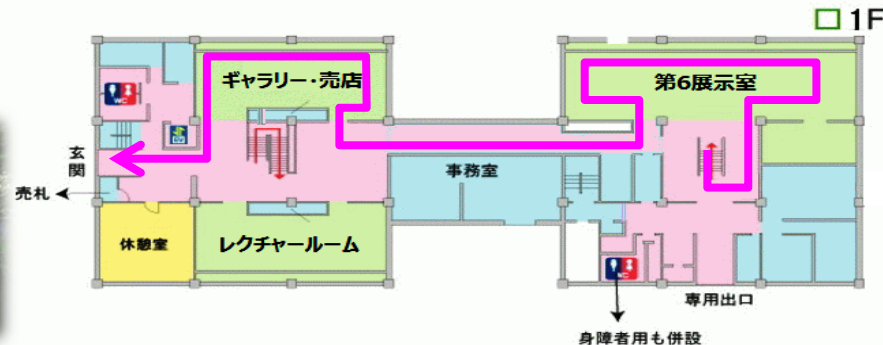
『万葉講和』
期間中2回を予定

< ギャラリー・売店・第6展示室 >



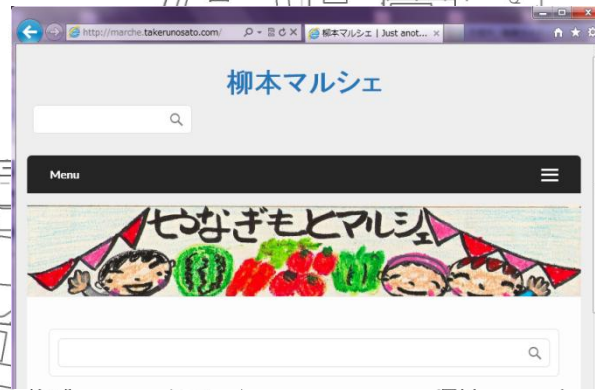
<展示>

- ・万葉歌碑の原本・拓本／キャプション、万葉パネル
- ・山の辺の道 風景写真・観光ポスター、イメージ地図
- ・山の辺の道沿いの古社寺や古墳関係の作品
- ・万葉衣装体験・記念撮影
- ・バナースタンド(社寺・催し・食)
- ・ディスプレイによる4K映像の放映



2F企画展
— 錦絵誕生250年—
「浮世絵版画 美の大世界」
より

- 第1回開催 7月20日(月祝)
- 場所は、柳本町箱又家具敷地の南隣り
- 出品者は事前に登録し、統一のコンテナにて出品。
1人2コンテナまでとし、計120コンテナ(テント6張り)を想定。
- 品目は野菜・果物・花類等幅広く募集する。
- 地域外の方の参加もOK(ただし、業者は除く)
- 当日の運営はそれぞれの出品者による個別販売ではなく、
売り場→総合レジ形態。
- 出品料は年会費1,000円と売上からの販売手数料10%



南部地区
にぎわいづくり
取り組み